

(様式3)

自己評価票

作成日 平成28年8月29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892500075		
法人名	株式会社 ライフケアサービス		
事業所名	グループホーム 喜楽	ユニット名	
所在地	〒311-4615 茨城県常陸大宮市下伊勢畑948-8		
自己評価作成日	平成28年4月10日	評価結果 市町村受理日	平成31年2月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0892500075-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年5月17日	評価機関 決 済 日	平成28年8月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

空気の澄んだ山間にある小さな施設でございます。一人ひとりへの会話も沢山ありホールでは明るく元気な声がいつもあります。入所者同士の会話やお部屋に行つての談話など施設の中は笑顔が沢山です。皆様御家族の面会も多く日々賑やかに穏やかに過ごしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は那珂川沿いの山間部にありながらも周辺は住宅地で、地域の一員として生活できる環境となっており、今までの生活を維持しながら四季の移り変わりを肌で感じることができる、自然豊かな場所に立地している。
管理者と職員は、利用者が「笑顔」で日々過ごせるよう、職員同士もコミュニケーションを図りながら常に笑顔で支援できるように努めている。
利用者の居室には机や椅子、冷蔵庫、電子レンジ、家族の写真や雑誌、趣味の編み物の道具など、使い慣れた物や好みのもをを活かして居心地よく過ごせるよう工夫している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全員が理解できるよう理念を壁に貼り出している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を代表者が作成し、玄関や各ユニットに掲示してその都度振り返るとともに、月1回の職員会議でも確認して共有し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭り、クリーン作戦等に参加している。	事業所は自治会に加入しており、年2回から3回行う地域の清掃活動である「クリーン作戦」に職員が参加しているほか、利用者は職員と一緒に散歩をしながらゴミを拾ったり、回覧板を回しながら近隣住民と挨拶を交わすなど、日常的に交流している。 地域で行う花火大会や夏祭りを見学したり、楽器演奏や歌、踊りなどの地域ボランティアを受け入れ、利用者が地域住民とつながりながら暮らせるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取り組みはしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の御家族、また近隣の方々からのご意見ご要望を聞くことができる。	運営推進会議は家族等の代表や毎回変わるが地域住民（区長、消防団員、駐在員、ボランティア、近隣の会社など）管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や運営状況、行事の報告を行うとともに、委員から一人暮らしの高齢者の情報を得て入居につなげるなど、出た意見や助言を運営に反映している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護高齢課と連絡を行い、介護認定更新手続きや空室状況を提供連絡している。	管理者は要介護更新申請などで市担当者を訪問した際に、運営状況や空床状況を報告している。 市の生活保護担当者が来訪し、生活保護受給利用者の状況を把握したり、相談をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の対象者はありませんが、職員全員が禁止行為の把握はしており身体拘束をしないケアをしている。但し緊急時にやむを得ず身体拘束が必要になった場合に備え同意書をもろうようにしている。	管理者や全職員は、日頃から身体拘束をしないケアに努めており、日中は見守り支援をして玄関の施錠はせず、夜間のみ施錠をしている。 身体拘束に関するマニュアルを作成したり、身体拘束に関する研修の実施、やむを得ず身体拘束を行う場合に備えた書類の整備をするまでには至っていない。	身体拘束について正しく理解するためにも、外部研修への参加や内部研修の実施を期待する。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備え、「経過観察記録」や「再検討記録」などの書類を整備しておくことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で虐待行為が行われていないかどうか日々確認話あっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対応が必要な時に支援できる体制が万全ではない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、その上疑問等を確認し、理解・納得をしていただいている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にお話をお伺いし意見要望を聞いている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションをはかり意見交換をし、運営に反映させている。	月1回の職員会議で、職員から意見や提案を聞く機会を設けているほか、日頃からコミュニケーションを図り、何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員の意見を受けて調理方法や味付けを変えるなど、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成時は一人ひとりの希望休を確認し、また再度確認納得の上作成している。個々の好い所が活かされるような責任を持ったやりがいができるよう配慮し合い声掛け合い行っている。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の案内等の回覧をしている。希望があった際はシフトの調整を行い参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	常陸大宮市グループホーム連絡協議会に入会しており勉強会と共に交流をはかっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に本人の希望、不安を聞き本人の気持ちを受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯や思い・不安、また要望を聞き入れ、気持ちを受け止めるようにしている。どんな小さな事でも相談して頂ける様に信頼関係につとめている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要なサービス利用に取り組み努力している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年々職員の年齢も若くなりつつある状況ですが、先人である入所者様の知恵袋等、新鮮に受け止め共栄共存している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の様子、職員からの思いを伝え、本人を支える為の御家族と同じような思いで支援している事をつたえている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	兄弟食事会へ外出やお墓参りや家族との外出お泊りなど本人の気持ちを尊重し、家族と連絡をとり進んでお出掛けして頂く様にしている。	職員は利用者からは契約時に聴き取りしたフェースシートやアセスメントシート、日々の会話などから、家族等からは来訪時などに話を聴き、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するように努めている。 友人や近隣の馴染みの知人等が来訪した際には、お茶を出して居心地よく過ごせるよう配慮している。 職員は利用者が行き慣れた店での買い物や外食、墓参りなど、家族等や友人の協力を得ながらこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自分の好きな趣味などやりながらも、お互いのものを褒めあいながら、いろんなことに興味を持ち楽しく時間を過ごしている。職員は声かけ、時には参加しながら利用者様とともに支え合い褒めあっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	たまにお会いしたりし、お話を聞いたり相談に応じている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人への問いかけをまめに行い本人の意思確認をしている。またそれと同時に顔の表情・仕草など微々さいに観測し、把握に努めている。	管理者と職員は、フェースシートやアセスメントシート、利用者との日常の関わりの中から一人ひとりの思いや希望の把握に努め、申し送りノートで共有している。 思いの表出が困難な利用者には、家族等の来訪時に話を聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時面談にていままでの生活状況を聞きこれまで送られてきた生活暮らしぶりの把握につとめている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを理解し、出来ることに注目し同時にその日の気分をよみ理解し全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様のお気持ち思い意見等を聞き反映し介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の意見や要望を聴き、医師や管理者、担当職員の意見を取り入れて計画作成担当者が作成している。 随時モニタリングを実施しているが、見直しの期間は基本的に1年間とし、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直しをして、利用者や家族等から確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の暮らしの様子や本人の言葉等気付いた事を記録し職員全員が把握し活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて通院などの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して地域で暮らせるよう、地域の皆様初め区長、駐在、消防機関、市役所等連携をとり支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族対応となっておりますが、不可能の場合は職員が代行を行っている。受診後は通院記録に記載し職員全員が把握できるようにしている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援し、その際は家族等が付き添うことを基本としているが、都合が悪い場合には職員が同行している。 受診結果は家族等から聴いて個人記録や受診ノート、申し送りノートに記載しているほか、職員が付き添った場合は、家族等へ電話や来訪時に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はおりませんがその状況に応じて対応しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリ等の情報提供をし緊急時に対応できるようにつとめている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と話し合いの上、医療行為が必要な時は病院、その後は経過ごとに対応している。看取りにかんしては今後順おって御家族と十分話し合いながら同意を得ていく方向であります。	事業所では看取り介護は行っておらず、職員は重度化や終末期に関する外部研修を受講し、受講内容は全職員に回覧しているが、対応マニュアルや指針の作成、内部研修を実施するまでには至っていない。	重度化や看取りに関する指針を作成し、家族等に説明をして書面にて同意を得るとともに、内部研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成し設置し職員は把握してもらっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練がまだできておりません。	地震想定を含む避難訓練を年2回実施するとともに、実施記録を作成して訓練で明らかになった課題を次回の訓練に活かしているが、地域住民の参加を得たり、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 災害に備えて米や水、カップ麺などの3日分の食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布を一覧表を作成して備蓄している。	夜間想定避難訓練や、訓練時に地域住民の協力が得られるような工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに気を付けている。	管理者や職員は、利用者一人ひとりの性格や生活歴を把握したうえで、利用者の呼び方や言葉遣いなどに気を配り、利用者一人ひとりの尊厳を大切に考えて支援している。 個人情報に関する同意書は整備しているが、利用者の写真の掲示や掲載に関する項目の記載はない。 個人情報に関する書類は、事務室の机の鍵のかかる引き出しに保管し、情報漏洩に留意している。	利用者の写真を事業所便りに掲載したり、事業所内に掲示することに関して、口頭での説明だけではなく書面にて同意を得ることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に決定をゆだね、意思表示が上手に出来ない方でも表情や動きなどから希望を把握するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服など選ぶ際に本人の好みを選んでもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お野菜等の下ごしらえをしたり食事の準備や後片付けを負担のかからないように配慮し一緒に行っている。	宅配業者の献立により食材が届き、代替食や近隣住民からのお裾分け、自家菜園の野菜を取り入れながら職員が調理している。 利用者は能力に応じて野菜の皮むきやテーブル拭き、配膳、下膳などの役割を担っている。 正月や雛祭り、クリスマスなどに行事食を取り入れるほか、花見弁当を持参しての花見や年2回の外出など、食事が楽しみなものとなるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量、水分量を毎日記録し職員間で情報を共有している。	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き入れ歯のお手入れなど声かけを行っている。	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日常の様子を観察し、声かけをし誘導見守りを行っている。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らって声かけ誘導し、トイレで排泄ができるように支援している。 失敗してしまった時も、さりげなく声かけをして羞恥心に配慮した支援を心がけている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表に記入し把握し、便秘を改善するよう水分補給や適度の運動・お腹のマッサージなどをおこなっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日を定め入浴している。但し、利用者様の通院などの都合でその日・時間に出来ない場合はその都度対応している。また、季節感のあるもの、色や香りを楽しめるよう入浴剤を入れたりする。	入浴は週2回を基本としているが、利用者の希望によってはいつでも利用可能となっている。入浴を拒む利用者には職員を替えたり、時間帯を変えるなどで対応している。毎日入浴剤を利用したり、菖蒲湯や柚子湯で季節感を取り入れるなど、入浴が楽しめるよう工夫しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを大切にし、体調に合わせて好きな時に休めるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をまとめファイリングし職員誰もが把握できるようになっている。また、きちんと服用しているか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことを把握し、お願いをして出来ることを支援しながら楽しくやっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	車でドライブや近隣へのお散歩をしている。	天気の良い日には、利用者と職員と一緒に事業所周辺を散歩し、利用者が気軽に外気にふれられるよう支援している。 季節の花見やりんご狩り、静峰神社などに、車いすの利用者も一緒に出かけている。 職員が同行できない場所には、家族等に思いを伝えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設側で個々の金銭を預かり金として、保管管理している。月に一度出納帳のコピーをわたしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでもかけられるようにプライバシーを配慮し自室にて使用している。ハガキ・お手紙は自由にかいている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の飾り付けをし、テレビの音量など不快にならないよう配慮し、施設内の温度設定にも日々配慮している。	居間兼食堂をはじめ、共有空間は整理整頓が行き届き、生花を飾るなど清潔に保たれている。 加湿器を配置して温度や湿度も快適に管理しているほか、職員と利用者で制作した貼り絵のこいのぼりを飾り、季節感を出していたり、利用者の居室のドアには全室暖簾が掛けられ、家庭的な雰囲気を出している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたり、お話を出来るスペースを提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時にそれまで使用していた身の回り品を持参して頂いております。御家族の方にも小物を置いたり写真を貼ったり協力して頂いております。	居室にはベッドやカーテン、エアコン、クローゼット整理箆筒が備え付けられている。 利用者は居室に寝具類やテレビ、箆筒、衣装ケース、目覚まし時計などの使い慣れた物品のほか、冷蔵庫や電子レンジ、加湿器、趣味の工芸品、手芸道具、家族の写真、位牌など、大切な物品を持ち込んで、自宅と同じような居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御家族の同意を得て居室の入り口に名札を設け、本人のわかりやすい物など入所者様の意見や状況に応じて対応しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム喜楽

作成日 平成31年2月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束について経過観察記録の整備	契約書への添付	内容を把握し、説明の分かり易い文面にする。	6ヶ月
2	33	重度化における取組み	家族への分かりやすい説明	家族への分かりやすい説明	3ヶ月
3	35	夜間想定避難訓練	年に一度は行なう	住民の方へ協力をお願いする	1年
4	36	肖像権	契約者から同意書もらう	新たに作成して個人情報同意書に印をもらう	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。